パタゴニアのダウン・ジャケットを補修テープで継ぎあてる方法

ダウンジャケットが破れてしまったら、ピローファイトで羽毛まみれになったかのようになるかもしれま...

作成者: Brittany McCrigler

はじめに

ダウンジャケットが破れてしまったら、ピローファイトで羽毛まみれになったかのようになるかもしれません。破れ目から羽毛が出てくるのを防ぎ、破れが大きくならないように補修テープを貼ります。補修テープは優れた応急処置で、しばらく効果もありますが、最終的にはきちんと補修することをお薦めします。ダウンジャケットの補修の詳細につきましては、バッフルの修理方法をご覧ください。

交換パーツやさらなるサポートが必要な場合はパタゴニアカスタマーサービスにまでご連絡ください。

ツール:

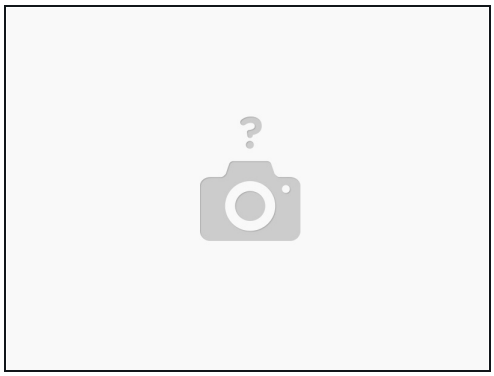
万能ハサミ (1)
Tenacious Tape (1)

手順 1 — パタゴニアのダウン・ジャケットを補修テープで継ぎあてる方法

- 傷んだ箇所を確認します。小さなハサミを使ってほつれた糸や生地、ダウンを切り取ります。

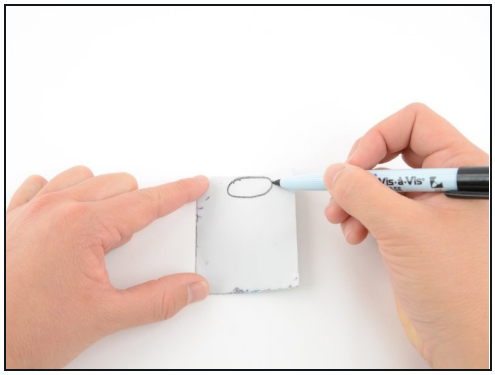
⚠ 羽毛を指で引き抜かないでください。羽毛を引っ張ると穴からさらに羽毛が出る恐れがあり、問題を悪化させます。

手順 2



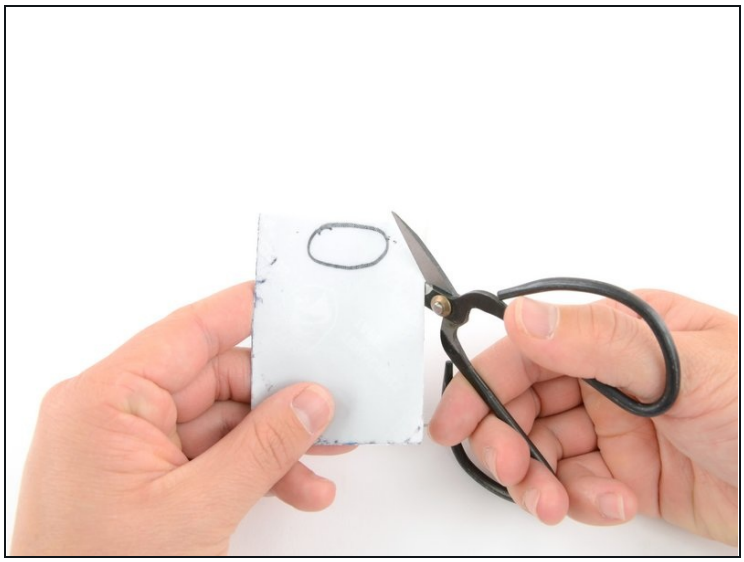
- パッチを取り付ける前に、イソプロピルアルコールを使って修繕箇所の布の周辺を綺麗に拭きとります。この作業により汚れやオイルが拭き取れ、接着剤が布にしっかりと装着できます。接着剤付きパッチを取り付ける前に、若干時間を置いて布を完全に乾かしてください。

手順 3



- 補修テープを用意します。
- 補修テープを裏返します。
- 油性のペンを使って傷や穴より少し大きめの楕円を描きます。
  ⓘ 傷や穴が大きい場合は長方形を使うことも可能ですが、引っかかったりめくれたりしないように角は丸くします。

手順 4



- ハサミで楕円形に切ります。

手順 5

- パッチが十分な大きさであることを確認するために、穴の上に形状を重ねます。パッチは、穴や裂け目をカバーし、損傷部分を越えて、少なくとも6mmの重なりをもって四方の布地に伸びるようにします。

手順 6

- 指の爪またはピンを使って補修テープの裏をはがして粘着面だけを残します。

⚠ 粘着面に触れないよう注意してください。

手順 7

- 穴の上にテープを配置し指で押さえます。

手順 8

- スパッジャーもしくは硬いプラスチックカード、または親指の腹を使い、パッチを平らにし、パッチの下にある気泡を取り除きます。さらに下向きに圧力をかけ、パッチの端から端まで押し出すようにして、パッチを滑らかにします。
- 温かい手で、きちんと接着するまで圧力をかけ続けます。
- 次の洗濯の前に、少なくとも24時間、パッチが固まるのを待ちます。